

やすらぎの住家

子育てを終えた団塊の世代の家

正形な平屋を基本としバリアフリーなフラットフロアやデッキ

寝室に隣接するトイレと浴室

人々の集える開放できる引き戸・内外との境を無くすフルオープンサッシを採用し

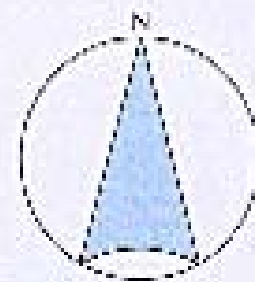
2階部分は時が経つと子供や孫のためのゲストルームとした

良木材を多用することにより、在来建築の活性化が進み、
木材の健全なリサイクルがなされ、廃油も確立し、

ユーザーに適時木材が提供できるようになる。

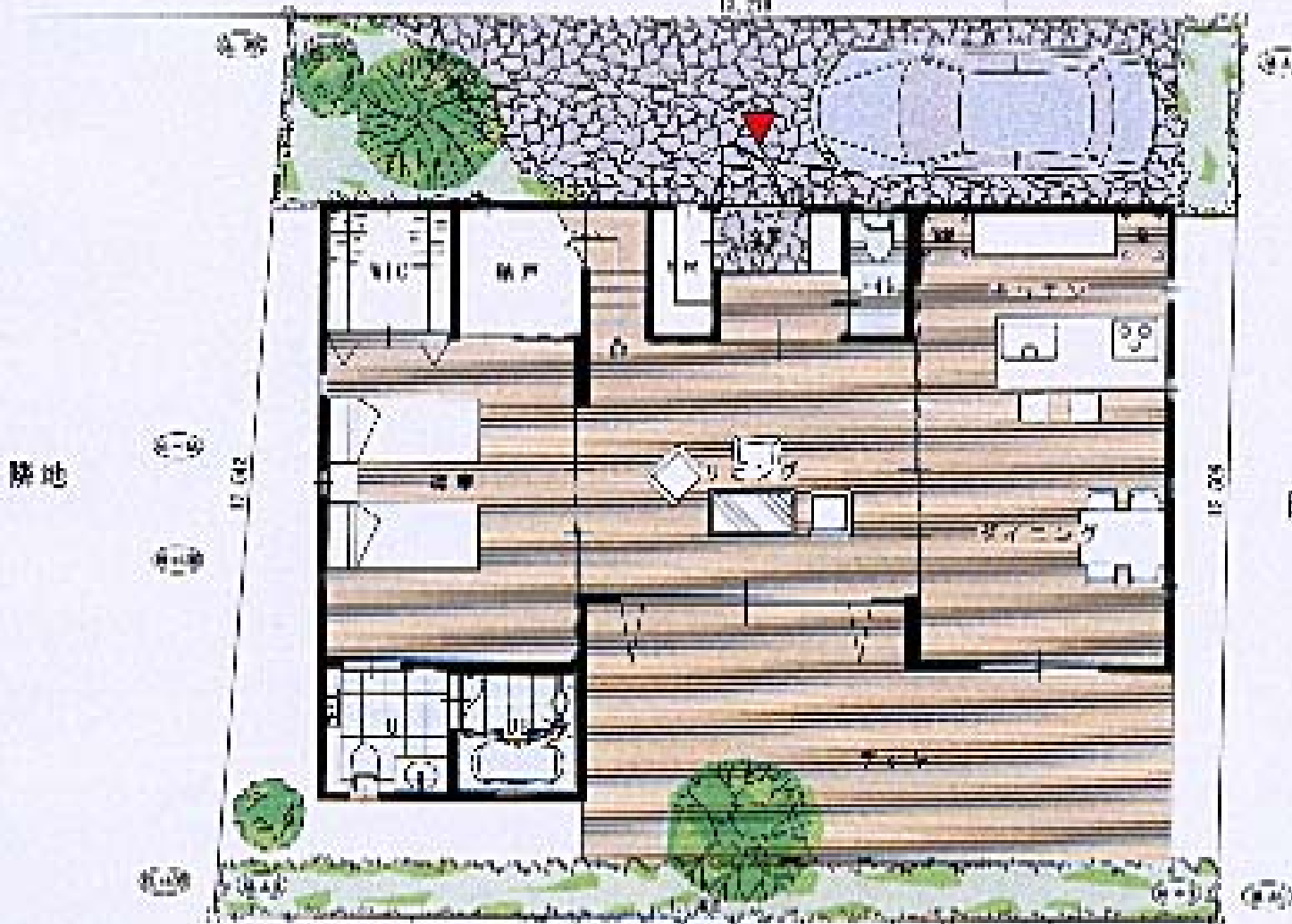
しいては、CO2の多量な削減が長年に渡り可能となり、
地球温暖化防止の一助となる。

又、仕上材に木材を用いる事により保水性の空間が生まれ
住まい環境の安全をも作り上げることが出来る。



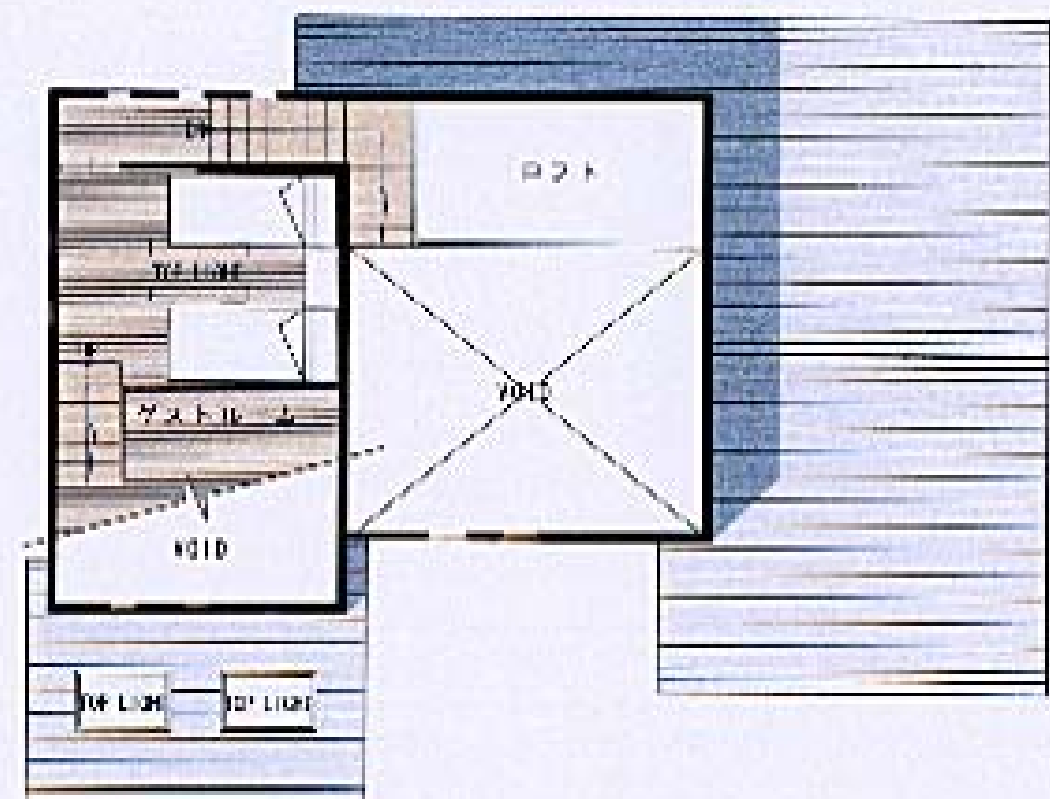
前面道路

6,500

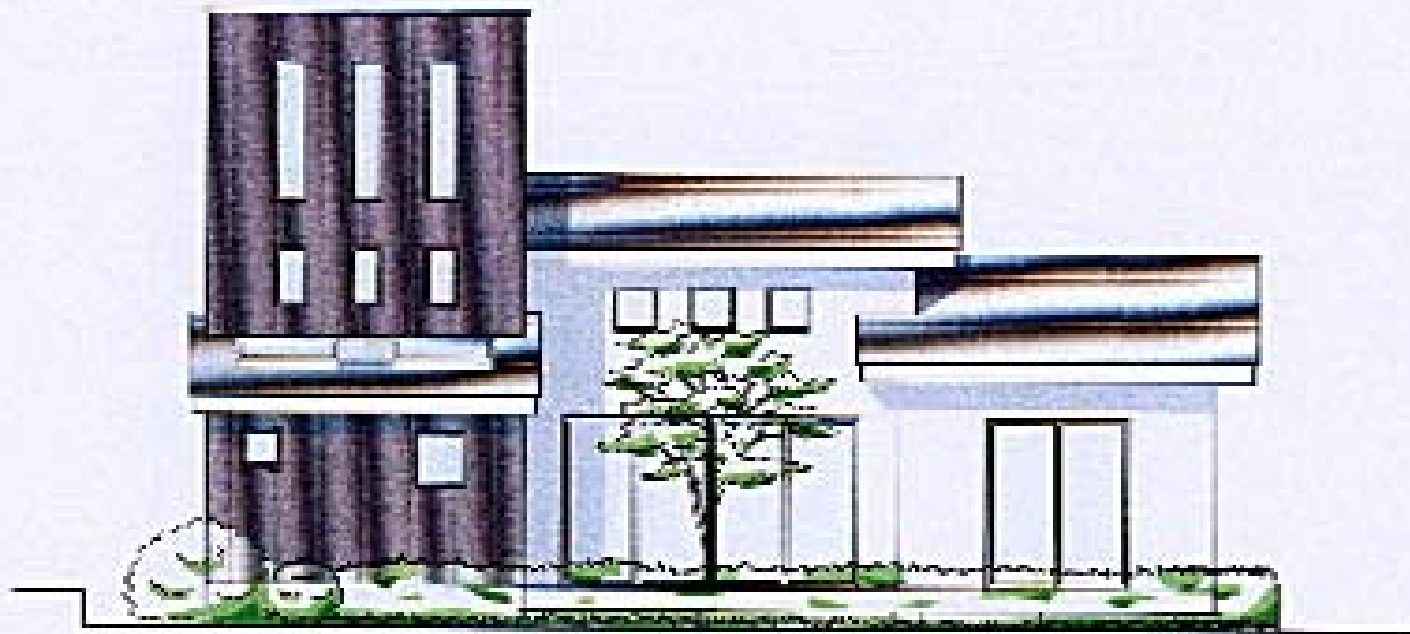


1 F PLAN S=1/100

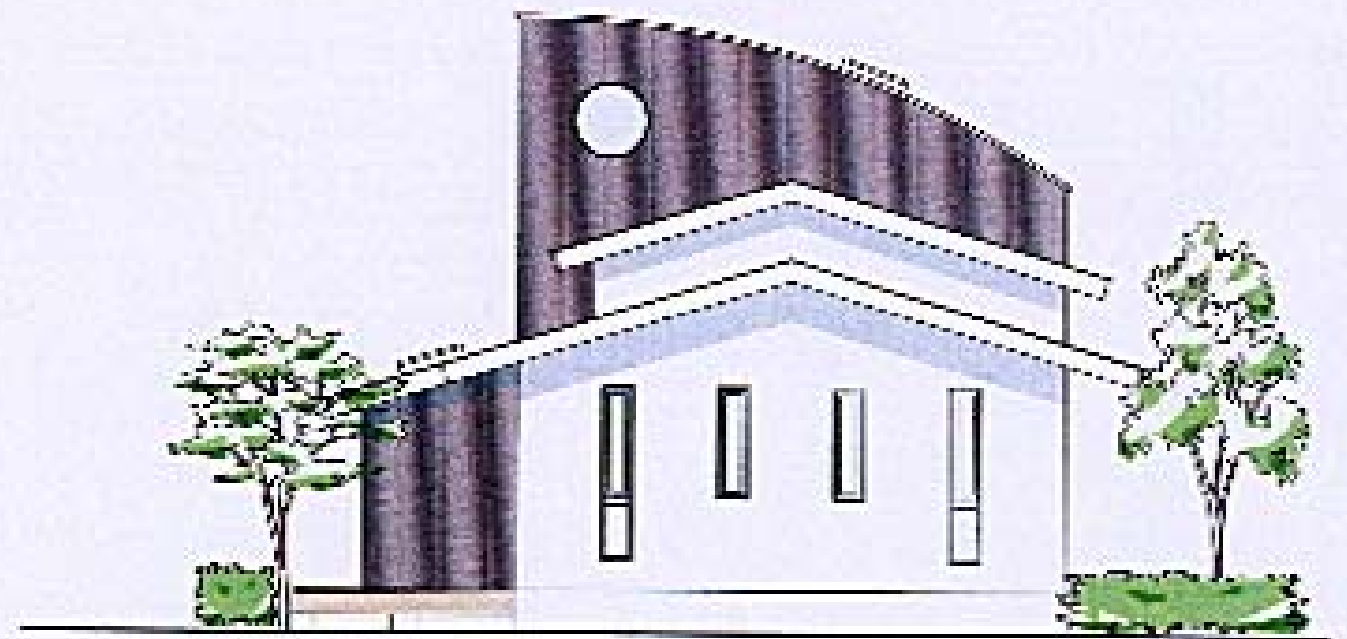
1階床面積：77.841m²
2階床面積：54.843m²
延床面積：132.684m²



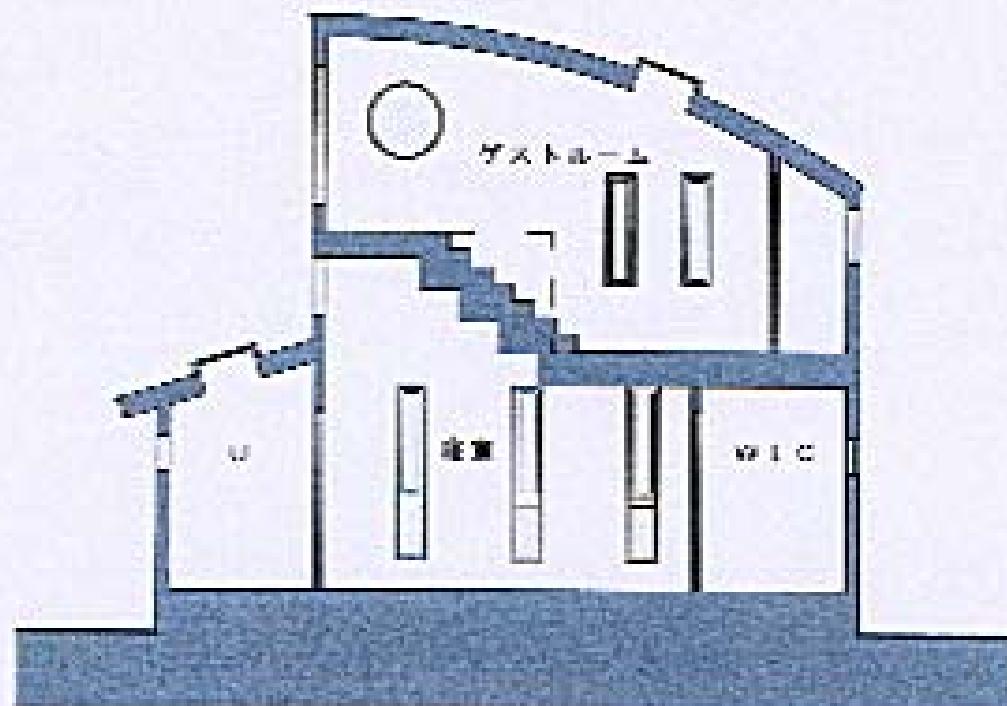
2 F PLAN S=1/100



South ELEVATION S=1/100



East ELEVATION S=1/100



SECTION S=1/100

構造材はすべてを含め全て異素材を使用し、内外部下地材も異素材を使用する。造作材は黒亜、杉、桜材を使用し、仕上げ材も床は畳タタミ材とし、壁は珪藻土・杉合板長巻として、安全性・機能性・経済性を考慮するとともに、暖かさ・さわやかさ・おだやかな、そして柔らかな空間を表現する。

外壁は、平屋部分は珪藻土仕上げとし、2階建て部分に不燃処理した杉板張りとしてアクセントとした。